２０２７年度

名古屋大学大学院
環境学研究科博士前期課程

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

学生募集要項

（2027年４月入学第Ⅱ期募集）

名古屋大学大学院

環境学研究科

【重要】インターネット出願サイトにおける事前手続きについて

環境学研究科への出願には，インターネット出願サイトでのマイページ登録や出願内容の登録，入学検定料の支払い等，事前手続きが必要となります（「4. 出願手続き」参照）。

顔写真など登録に必要なデータ，発行された書類の印刷に必要なカラープリンター等機器，入学検定料の支払い方法等を予め確認の上，早めに準備を始め，出願時には必ず必要書類が手元にあるようにしてください。自宅にプリンターがない場合は，コンビニエンスストア等，印刷できる環境を事前に確認してください。

なお，登録したメールアドレスには，入試に関する重要なお知らせを配信することがあります。変更や削除の可能性がなく，日常的に確認できるアドレスを登録してください。

【受験にあたっての注意事項】

＊不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により，試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は，次のホームページ等により周知しますので，出願前や受験前は定期的に確認してください。また，対面試験が急遽オンライン試験に変更される場合があります。

◇環境学研究科ホームページ

URL: https://www.env.nagoya-u.ac.jp/

◇連絡窓口

名古屋大学大学院環境学研究科大学院係

TEL: 052－789－4272/4590

Email: env@t.mail.nagoya-u.ac.jp

※土日祝日及び年末年始休業期間中にいただいたお問い合わせへの回答は、休業期間終了後に順次行います。あらかじめご了承ください。

＊オンライン試験受験にあたっては，以下の行為を禁止します。

・接続URLや接続日時など，試験に関する情報の第三者への漏洩あるいは公開
・試験実施方法や試験内容の第三者への漏洩あるいは公開
・試験中の録画・録音等（事前テスト等も含む）

試験中の不正行為が判明した場合，それ以後の受験はできなくなり，受験した全ての成績は無効となります。また，提出書類における虚偽または不正の事実が判明した場合，その判明が入学後であっても試験不合格とし，厳正に対処します。

アドミッション・ポリシー（学生受入方針）

本研究科は，環境学を支える自然，都市，社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに，専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し，さらに，その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために，本研究科は，惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状，動態，変遷を探究する地球環境科学専攻，都市の社会基盤，建築物などの人工環境を創造し，水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻，人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し，環境政策を提言する社会環境学専攻，から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって，持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。



（1）入学者受入れの方針

博士前期課程

専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，確かな基礎学力を持つ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

博士後期課程

専門分野の高度な学力，専門知識の幅広い応用力を有し，専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，研究者やリーダをめざすために十分な研鑽を積んだ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。特に，リカレント教育においては，研究成果を社会に適用し，社会が抱える問題を解決する強い意欲を有する人を受け入れます。

（2）選抜の基本方針

博士前期課程

専門分野および英語の基礎学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては主に受験生の基礎学力を評価し，口述試験においては主に学生の意欲を評価します。

博士後期課程

研究者や社会で活躍するリーダをめざすために必要な専門分野および英語の学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては研究者や社会で活躍するリーダをめざすための学力を，口述試験においては十分な研鑽実績と意欲を評価します。

2027 年 4 月に本学大学院環境学研究科〔博士前期課程〕に入学する学生を下記の要項により募集する。

出願にあたっては，一般選抜のほか，外国籍を有し，本研究科に在留資格「留学」で在学することができる者は，留学生特別選抜を選択できる。また，2027 年 3 月 31 日までに 2 年以上の社会人（家事・家業従事者，退職者等を含む）経験を有する者は，社会人特別選抜を選択できる。

出願にあたっては指導希望教員への事前連絡や内諾等を必要とする場合もあるので，受験を希望する試験の注意事項をよく確認すること。

詳しい内容については本募集要項のほか，別ファイルの「2027 年度名古屋大学大学院環境学研究科入学（進学）試験受験案内（以下，受験案内）」もあわせて確認すること。

1．出 願 資 格

次の各号の一に該当する者

(1) 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第 104 条第 7 項第 1 号の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
(9) 2027 年 3 月 31 日までに，大学に 3 年以上在学し，又は外国において学校教育における 15 年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（ただし，上記資格(1)該当者は除く）
(10) 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

出願資格の事前審査について

出願資格（9），(10）により出願しようとする者は，出願資格の有無について事前審査を実施するので，あらかじめ本研究科大学院係に照会の上，2026 年 12 月 4 日（金）までに所定の申請書類を提出すること(郵送必着)。合計 16 年の課程を修了していない者は，事前審査を受けなければならない。

出願資格（9）のうち，「大学に３年以上在学し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（いわゆる飛び級）」に対する入学者選抜により入学した者は，在学中の大学は退学となり，学士の学位を修得しないまま大学院博士前期課程に入学することとなる。したがって，大学の学部卒業を要件とする各種国家試験等においては，受験資格を満たさないので注意すること。

なお，飛び級の選抜の実施の有無は以下のとおりである。

専攻	系・コース	Ⅰ期入試	Ⅱ期入試	秋入学
地球環境科学	地球惑星	実施する	実施しない	実施しない
	大気水圏		実施する	実施しない
都市環境学	持続発展学	実施する	実施しない	実施しない
	建築学			
社会環境学		実施しない	実施する	実施しない

2．募 集 人 員

地球環境科学専攻	53 名
都市環境学専攻	47 名
社会環境学専攻	27 名

＊募集人員には，本募集における人員及び 2026 年 8 月実施の第Ⅰ期募集の人員が含まれる。さらに，地球環境科学専攻，都市環境学専攻持続発展学コース，及び社会環境学専攻に関しては，2027 年 8 月実施予定の 2027 年秋入学募集の人員も含まれる。

（留学生特別選抜による各専攻の定員 5 名，社会人特別選抜による若干名を含む。）

＊都市環境学専攻建築学コースについては，第Ⅱ期募集を行わない。

＊都市環境学専攻持続発展学コースに入学可能な人員については，受験案内を参照すること。

3．インターネット出願サイトでの登録期間および入学検定料支払い期間，願書受付期間

インターネット出願サイトでの登録期間及び入学検定料払込期間：

2026 年 12 月 21 日（月）～2027 年 1 月 8 日（金）12 時

願書受付期間：2027 年 1 月 4 日（月）～2027 年 1 月 8 日（金） 16 時

（持参の場合: 9 時～12 時，13 時～16 時，郵送の場合: 最終日 16 時必着）

4．出 願 手 続 き

⑴ まず，別記資料「インターネット出願の流れ」を参照して，インターネット出願サイトでマイページの登録，出願内容の登録，入学検定料の支払い等，STEP 1~STEP 5の手続きを行うこと。

⑵ インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払い完了後，ダウンロードできる書類に含まれる「出願書類提出用宛名シート」をカラー印刷し，郵送の場合は，市販の角形２号封筒に貼り付けて願書送付用の封筒を用意すること（「インターネット出願の流れ」STEP 6（必要書類の印刷と郵送）参照）。なお，海外から追跡可能郵便サービス (EMS等) により願書を送付する場合は，「11.その他（8）連絡先」宛てに願書受付期間必着で郵送すること（この場合「出願書類提出用宛名シート」を使用しなくてよい）。

⑶ 「６．提出書類」にある出願に必要な書類全てを同封筒に封入の上，願書受付期間に必着するよう簡易書留郵便または速達書留郵便で郵送，もしくは本研究科大学院係窓口へ持参すること。

※英語外部検定試験のスコアシートを願書とは別に提出する場合は，下記期日までに「11.その他（8）連絡先」宛てに簡易書留郵便または速達書留郵便にて期日必着で郵送（「出願書類提出用宛名シート」は使用しなくて

もよい），もしくは本研究科大学院係窓口へ持参すること。

＜スコアシート提出期限＞

1月29日（金）16:00（必着）

⑷郵送の場合，出願書類は，願書受付期間最終日16時まで必着のものに限り受理する。ただし，1月6日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り，期限後に到着した場合も受理する。

⑸ 出願手続きに関する注意事項

・出願手続きは，インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後，出願期間内に必要な出願書類などを簡易書留郵便または速達書留郵便で郵送，もしくは本研究科大学院係窓口へ持参することにより，完了する。インターネット出願サイトでの出願登録及び入学検定料の支払いが完了していても，願書受付期間内に出願書類の提出がなければ出願は受理できないので注意すること。

・不測の事態に備え，出願書類は可能な限り願書受付期間最終日の前日までに到着もしくは提出するようにすること。

・出願書類に不備のある場合は受理しない。

・出願手続後の書類の書き換え及び書類の返還には応じない。

5．入学検定料の支払い

⑴ 入学検定料30,000円

※別途，払込手数料（750～1,300円程度）が必要である。

※出願時において国費外国人留学生である者は，入学検定料の支払いは不要である。出願時に「検定料の免除について」をチェックすること。

⑵ 払込期間（日本時間）

2026年12月21日（月）～2027年1月8日（金）12時まで

※支払い期間の最終日は，願書受付期間の最終日と異なる点に注意すること。

※出願書類の受付期限は2027年1月8日（金）16時（郵送は必着）となるので，検定料は早めに支払うこと。

⑶ 払込方法

支払いは，別記「インターネット出願の流れ STEP 5（入学検定料の支払い）」で指定するいずれかの方法で上記支払い期間内に行うこと。

(4) 入学検定料の支払いに関する注意事項

・入学検定料の支払い期限は，インターネット出願サイトで出願内容を登録した日から登録日を含め 4 日間である（但し，支払い期間最終日までの日数が 4 日より短い場合は，支払い期間最終日まで）。期限内に支払いがない場合，登録した出願内容は自動的にキャンセルとなるので注意すること（キャンセルとなった場合，再登録が必要である）。

・出願内容登録の際，入学検定料の支払い方法にクレジットカードを選択した場合，出願登録と同時に支払いが完了するので注意すること。

(5) 入学検定料の返還について

出願書類の受理後は，納入済みの入学検定料を返還しない。ただし，以下に該当する場合は，返還にかかる振込手数料を差し引いた上で納入された入学検定料を返還する場合がある。

① 入学検定料納入後，出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

② 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は金額が大きく減額される他，長い日数を要するので，納入は慎重に行うこと。返還請求の方法については，名古屋大学ホームページ→入学案内（受験生応援サイト NU START GUIDE へ移動）→大学院入試→入学検定料の支払いについて（URL）を確認すること。

6．提出書類

入学志願者は，次の書類を上記「4．出願手続き」に従って本研究科に提出すること。

全出願者が提出する書類		
1	名古屋大学大学院　志願票	インターネット出願サイトからダウンロードした書類を A4 用紙にカラー片面印刷すること。
2	写真票	インターネット出願サイトからダウンロードした書類を A4 用紙にカラー片面印刷すること。インターネット出願サイトで顔写真をアップロードする際は（インターネット出願の流れ STEP4,⑤），出願前 3 か月以内に撮影した 2 MB 以内のデータとすること。 ※研究科指定欄 1~3 はそのまま空欄とすること。
3	環境学研究科 志願調査票・履歴書	本研究科所定の様式。研究科ホームページからダウンロードした書類を A4 用紙に片面印刷すること（白黒印刷可）。 ※合格通知送付先・連絡先がインターネット出願サイトで登録した住所と異なる場合は，「環境学研究科志願調査票」の連絡先に記入すること。
4	志願理由書	本研究科所定の様式。研究科ホームページからダウンロードした書類を A4 用紙に片面印刷すること（白黒印刷可）。 ※志願する専攻・系の書式を用いること。
5	成績証明書	学部（教養課程を含む）の成績を証明するもの 出身大学長又は学部長が作成し，改ざんが行えない処理が施されたもの。編入学者は，編入学前の学校が発行した証明書も併せて提出すること。 外国の大学を卒業した者は，大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は，日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること（コピーは不可）。成績評価基準が分かる資料をあわせて提出すること。 ※1 中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。
6	学位証明書（卒業証明書） あるいは卒業見込証明書	外国の大学を卒業した者は，大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は，日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること（コピーは不可)。 ※1 中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。
7	TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本 <有効な検定種目> ・TOEFL iBT （Internet-Based Test） ・TOEIC Listening & Reading Test ・IELTS アカデミック・モジュール	2025 年 2 月 1 日以降に受験した以下のいずれかを提出すること。なお，提出された書類は返却しない。 ・TOEFL　“Test Taker Score Report”* （Home Edition を含む，MyBest™ スコアは採用しない。） ・TOEIC　“Official Score Certificate”　〈公式認定証〉あるいは“Digital Official Score Certificate”〈デジタル公式認定証〉 ・IELTS　“Test Report Form”　〈成績証明書〉 ※社会環境学専攻で社会人特別選抜を受験する者，または自己推薦入試を受験する者で原則として英語を公用語とする国・地域における高等教育機関を卒業・修了した者，あるいは卒業・修了予定の者は，スコアシートの提出を必要としない。 ※出願時にスコアシートを提出できない場合やスコアの差し替え等に関する

		取扱いについては，本要項「4. 出願手続き」，各専攻の選抜方法及び受験案内を確認すること。 ※直送制度は本研究科では取り扱わない。
8	類型該当性の自己申告書	本研究科所定の様式　※2
以下，該当する者のみが提出する書類		
9	自己推薦書	**社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者** 本研究科所定の用紙に記入したもの。
10	研究計画書	**社会環境学専攻を受験する者** 1. 様式・分量は指定しない。A4 用紙に印刷すること。 2. 次の項目については必ず記載すること。 ①問題の背景と研究の目的，②先行研究の状況，③研究の方法（枠組み，手法など） 3. 文献を適切に引用・参照すること。
11	卒業論文	**社会環境学専攻を受験する者**（コピー可，草稿可） 日本語あるいは英語で書かれていない場合は，日本語または英語の要旨（A4 紙 1 枚程度）を添付すること。 卒業論文を提出していない場合，これまでの学習内容 や研究内容をまとめたものを提出のこと。（卒業論文の草稿可）
12	在留カードの写し(両面)･パスポートの写し(顔写真のページ)	**日本国籍を有しない者** (日本国永住許可を得ている者を除く) 海外在住者はパスポートの写しを提出。
13	国費外国人留学生証明書	**国費外国人留学生** ただし，名古屋大学に在学中の国費外国人留学生は提出不要。

※1　中国の大学を卒業した者が出願する際の注意事項
中国の大学卒業者の 5. 成績証明書，ならびに 6 . 卒業（見込）証明書について疑義がある場合，中国政府直轄財団「中国教育部学生サービス・発展センター（CSSD）」が運営している「中国学位・学歴認証システム」により学歴を確認することがある。

※2　「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，大学・研究機関における学生への機微技術提供の一部が外為法の管理対象となった。これに伴い，本学に学生として出願する者は，「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要である。また，合格時に別途「誓約書」の提出を求める場合がある。

7．選抜方法等

入学者の選抜は，一般選抜，留学生特別選抜及び社会人特別選抜に分けて行い，出願書類，学力検査により総合的に判定し，合格者を決定する。

各試験の詳しい内容については，本募集要項のほか，別ファイルの受験案内もあわせて参照すること。

7．1 地球環境科学専攻

地球環境科学専攻には，地球惑星科学系と大気水圏科学系がある。

地球惑星科学系には，地球環境システム学，地質・地球生物学，地球化学，地球惑星物理学，生態学，地球惑星ダイナミクス，地球史学の各分野がある。

大気水圏科学系には，地球環境変動論，気候科学，物質循環科学，地球水循環科学の各分野がある。

地球環境科学専攻では，出願時に提出されたTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシート（原本）の点数を換算して試験科目「英語」を採点する。なお，有効なスコアシートが提出されなかった場合，試験科目「英語」の点数を零点とする。また，スコアシートの提出方法については，「6．提出書類」を参照すること。

＜地球惑星科学系志望者＞

学力検査は，英語と口述試験により行う。口述試験は名古屋大学内の試験会場において対面式で行う。

なお，2026年8月実施の第Ⅰ期募集において，指導可能な人数の上限に達した教員もいるため，地球惑星科学系を志望する者は必ず事前に志望分野の教員もしくは志望指導教員に連絡を取ること。

①一般選抜

学力検査は，以下の表の日程で行う。

日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	集合場所（注２）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　（注１）	環境総合館3階 演習室３

（注１）卒業研究の内容や入学希望分野での研究計画の概要などについての5分間の発表を課し，その発表内容等について10分間程度の口頭試問を行う。5分間発表のためのパワーポイントファイルもしくはpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。

（注２）試験開始10分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

②留学生特別選抜

学力検査は，以下の表の日程で行う。

日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	集合場所（注３）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　（注１） 英語（面接）　（注２）	環境総合館3階 演習室３

（注１）卒業研究の内容や入学希望分野での研究計画の概要などについての5分間の発表を課し，その発表内容等について10分間程度の口頭試問を行う。5分間発表のためのパワーポイントファイルもしくはpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。

（注２） 志望動機や入学後の研究計画などについて，英語で口頭試問を行う。

（注３）試験開始10分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

③社会人特別選抜

学力検査は，以下の表の日程で行う。

日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	集合場所（注２）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　　（注１）	環境総合館3階 演習室3

（注１）卒業研究の内容や入学希望分野での研究計画の概要などについての5分間の発表を課し，その発表内容等について10分間程度の口頭試問を行う。5分間発表のためのパワーポイントファイルもしくはpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。

（注２）試験開始10 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

④第２志望

一般選抜において，受験者は志望する分野もしくは指導教員を第２志望まで記入できる。教員１名が受け入れることのできる学生数には上限があり，希望する教員を指導教員にできない場合があるので，できるだけ第2志望を記入すること。第2志望は同じ分野の異なる教員でも構わない。合格してかつ指導教員が第１志望以外になる場合はその旨を合格通知とともに通知する。

なお，地球惑星科学系と大気水圏科学系では試験の実施方法が大きく異なるので，第１志望の系と第２志望の系が異なる場合には，第１志望の系だけでなく，第2志望の系の試験も受験する必要がある。両系の募集要項を熟読して書類を準備・提出すること。口述試験の受験方法・時間・場所等については，出願後，該当する受験者にE-mailなどにより連絡する。なお，志願理由書は，第１志望の系の志願理由書を用いること。ただし，第２志望の志望先を記載するにあたっては，第２志望の系の志願理由書の指示に従うこと。

＜大気水圏科学系志望者＞

学力検査は，英語と口述試験により行う。口述試験は来学しての受験を原則とするが，受験のための来学が困難な場合には，オンライン試験として実施する。「志願調査票」に必要事項を記入して提出すること。また，オンライン試験については以下に示す時間以外の試験時間を設ける場合がある。必ず，環境学研究科のホームページで最新の入試情報を確認すること。

①一般選抜

学力検査は，以下に示す日程と時間で行う。なお，希望研究テーマなどについて，必ず事前に希望指導教員に連絡をとること。

日　付	試験時間（注１）	試験科目（試験方法）	集合場所（注３）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　（注２）	環境総合館1階 111号室（第１会議室）

（注１）試験時間が変更になった場合は，各受験者にE-mail等により連絡する。

（注２）卒業研究の内容や志望分野での研究計画の概要などについて５分間の発表を課す。その後，発表内容等について口頭試問を行う。発表のためのパワーポイントファイルやpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。

（注３）試験開始10 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

②留学生特別選抜

学力検査は，以下に示す日程と時間で行う。

なお，出題等については，語学力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に希望指導教員に連絡を取ること。

日　付	試験時間（注１）	試験科目（試験方法）	集合場所（注３）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　（注２）	環境総合館1階 111号室（第１会議室）

（注１）試験時間が変更になった場合は，各受験者にE-mail等により連絡する。

（注２）卒業研究の内容や志望分野での研究計画の概要などについて５分間の発表を課す。その後，発表内容等について口頭試問を行う。発表のためのパワーポイントファイルやpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。（※留学生特別選抜では，口頭試問の一部もしくは全部を英語で行う）

（注３）試験開始10 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

③社会人特別選抜

学力検査は，以下に示す日程と時間で行う。

なお，希望研究テーマなどについて，必ず事前に希望指導教員に連絡をとること。

日　付	試験時間（注１）	試験科目（試験方法）	集合場所（注３）
2027年2月12日（金）	9：00～12：00	口述試験　（注２）	環境総合館1階 111号室（第１会議室）

（注１）試験時間が変更になった場合は，各受験者にE-mail等により連絡する。

（注２）卒業研究の内容や志望分野での研究計画の概要などについて５分間の発表を課す。その後，発表内容等について口頭試問を行う。発表のためのパワーポイントファイルやpdfファイルをUSBメモリに入れて持参すること。

（注３）試験開始10 分前に集合すること。口述試験は遅刻を認めない。

④注意事項

オンライン試験の希望者は，同室者がいない静穏な環境で，不正行為を疑われない場所を各自で用意すること。また，音声，映像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保すること。通信環境の問題で試験の実施に支障が生じた場合も，試験時刻の繰り下げ等は行わない（ただし，本人の責めに帰さないと認められる場合，考慮することがある）。オンライン試験の前に室内全体を写すよう指示する場合がある。オンライン試験の詳細についてはE-mail 等により通知する。

⑤第２志望

一般選抜において，受験者は志望する指導教員を第２志望まで記入することが可能である。教員１名が受け入れることのできる学生数には上限があり，希望する教員を指導教員にできない場合があるので，できるだけ第2志望を記入すること。第２志望は同じ分野の異なる教員でも構わない。合格してかつ指導教員が第1志望以外になる場合はその旨を合格通知とともに通知する。

なお，地球惑星科学系と大気水圏科学系では試験の実施方法が大きく異なるので，第１志望の系と第２志望の系が異なる場合には，第１志望の系だけでなく，第2志望の系の試験も受験する必要がある。両系の募集要項を熟読して書類を準備・提出すること。その場合の口述試験の受験方法・時間・場所等については，出願後，該当する受験者にE-mailなどにより連絡する。志願理由書は，第１志望の系の志願理由書を用いること。ただし，第２志望の志望先を記載するにあたっては，第２志望の系の志願理由書の指示に従うこと。

７．２ 都市環境学専攻

都市環境学専攻では，持続発展学系及び建築学系の教育研究内容にもとづき，持続発展学コース，建築学コースの2つの履修コースを設けている。履修コースごとに取得できる学位の分野が異なり，それぞれ修了要件が定められている。本募集における博士前期課程については，持続発展学コースのみ募集を行う。

「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」参加者の選抜は，都市環境学専攻持続発展学コースの入試に則って実施する。同プログラムの詳細については，別ファイルの受験案内を参照すること。

【都市環境学専攻における試験科目「英語」の取扱い】

試験科目「英語」については，TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め，その点数を換算して採点する。有効なスコアシートについては，「6. 提出書類」を参照すること。また，スコアの換算方法については，別ファイルの受験案内を参照すること。有効なスコアシートが提出されなかった場合は，試験科目「英語」の点数を零点とする。

スコアシートは，原則として出願書類提出時にその原本を同封するものとする。但し，願書とは別に提出する場合は，封筒の表面に「スコアシート在中（都市環境学専攻）」と朱書きの上，「4. 出願手続き」の⑶に従って期限までに別途提出すること。なお，提出後のスコアシートの差し替えは認めない。

＜持続発展学コース（のみ）＞

【重要】事前手続きの関係上，外国籍を有し，本研究科に在留資格「留学」で在学を予定する者は，試験区分（一般選抜，留学生特別選抜，社会人特別選抜）にかかわらず，希望指導教員に受験の了承（内諾）を得た上で出願すること。

①一般選抜

学力検査は，以下の日程で行う。

日付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
2027年2月9日（火）	9：30－11：30	専門科目（筆記試験）　（注１）	環境総合館３階 講義室１
	13：00－14：00	小論文（筆記試験）　（注２）	同上
	16：30－	面　接　（注３）	当日試験場で指示する

（注１）⑴ 環境工学・環境政策，⑵ 環境化学，⑶ 計画学の3分野からそれぞれ2~3問，計7問を出題するので，任意に3問を選択して解答する。各分野の出題数および出題範囲は，別ファイルの受験案内を参照すること。

（注２）小論文1問を出題する。出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

（注３）主として，志望の動機，これまでの研究内容，入学後の学修・研究計画，及びこれらに関連する事項について試問する。

②留学生特別選抜

留学生特別選抜の学力検査は，以下の日程で行う。出題等にあたり，語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り，受験の内諾を得ること。

日付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
2027年2月9日（火）	9：30－11：30	専門科目（筆記試験）　（注１）	環境総合館３階 講義室１
	13：00－14：00	小論文（筆記試験）　（注２）	同上
	16：30－	面　接　（注３）	当日試験場で指示する

（注１）⑴ 環境工学・環境政策，⑵ 環境化学，⑶ 計画学の3分野からそれぞれ2~3問，計7問を出題するので，任意に3問を選択して解答する。各分野の出題数および出題範囲は，別ファイルの受験案内を参照すること。

（注２）小論文1問を出題する。出題範囲は別ファイルの受験案内を参照すること。

（注３）主として，志望の動機，これまでの研究内容，入学後の学修・研究計画，及びこれらに関連する事項について試問する。

③社会人特別選抜

社会人特別選抜の学力検査は，以下の日程で行う。出題等にあたり，社会経験，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず出願前に希望指導教員に連絡を取り，受験の内諾を得ること。

日付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
2027 年 2 月 9 日（火）	9：00－16：30 （個別実施）	口述試験（対面口述）（注１）	個別に通知する
	16：30－	面　接　　（注２）	当日試験場で指示する

（注１）一人あたり約 30 分の口述試験を行う。試験内容，試験時間，及び実施方法等の詳細については，受験の内諾を得た希望指導教員もしくは入試担当者から個別に通知する。

（注２）主として，志望の動機，社会経験，既習分野，入学後の学修・研究計画，及びこれらに関連する事項について試問する。

④その他

・出題範囲，受験にあたっての注意事項等，試験の詳細については別ファイルの受験案内を参照すること。

・合格かつ指導教員が第１志望の教員以外になる見込みの場合は，合格通知の際にその旨を通知する。

７．３ 社会環境学専攻

①一般選抜

学力検査は，以下の日程で行う。試験科目「英語」については，出願時に「６.提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお，有効なスコアシートが提出されなかった場合，試験科目「英語」の点数を零点とする。 筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。

なお，志願者は，志願分野及び指導教員を決定するにあたり，出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

試験種別	日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
普通入試	2027年2月8日（月）	９：30～11：30	専門科目（筆記試験）（注１）	環境総合館1階レクチャーホール
		14：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）
	2027年2月9日（火）	９：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）
自己推薦入試（注３）	2027年2月8日（月）	14：00～	口述試験　（注２,４,５）	後日通知（注2）
	2027年2月9日（火）	９：00～	口述試験　（注２,４,５）	後日通知（注2）

（注１）専門科目（筆記試験）は，9時10分までに試験場に入室すること。
専門科目（筆記試験）は，入学志望分野からの出題に解答すること。
専門科目（筆記試験）では，辞書・電卓等の持ち込みを認めない。
専門科目（筆記試験）の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

環境政策論分野	環境政策に関する１問および，他分野（経済環境論・環境法政論・社会学・地理学）から任意で選択した１問の，合計２問に解答する。
経済環境論分野	以下から２問を選択し解答する。 環境経済学，経済理論，統計学，経営学総論，経営組織論
環境法政論分野	以下から２問を選択し解答する。 環境政治，環境行政，環境ガバナンス
社会学分野	社会学理論，社会調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 英文の設問を含む合計２問を出題する。
地理学分野	人文地理学，自然地理学，地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 英文の設問を含む合計２問を出題する。

（注２）各分野の口述試験の具体的な指定日時・試験場等については，後日，E-Mail等で通知する。

（注３）自己推薦入試を希望するものは，出願時までに指導希望教員から事前に了承を得なければならない。（自己推薦入試は，特に高い能力を有すると指導希望教員が判断した者のみ受験が認められる。それ以外の場合は普通入試を受験すること。なお，普通入試と自己推薦入試の併願は認めない。）また，入学志願調査票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある欄に，事前了承を得た教員名を明記すること。

（注４）自己推薦入試においても来学受験を原則とするが，受験のための来学が極めて困難な場合，Zoom 等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は必ず，希望する指導教員の内諾を出願時までに取り，入学志願調査票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある欄にその旨を明記すること。（希望が必ず認められるわけではない。）オンライン受験の希望者は，上記日程の指定された時間（日本時間）に，音声，画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお，通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合，欠席扱いとすることがある。

（注５）自己推薦入試のオンライン受験希望者には，後日，E-Mail等でオンライン受験の可否，オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

②留学生特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。試験科目「英語」については，出願時に「６.提出書類」に従って提出されたスコアシートの点数を換算して採点する。なお，有効なスコアシートが提出されなかった場合，試験科目「英語」の点数を零点とする。

筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。なお，出題等については，語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
2027年2月8日（月）	９：30～11：30	専門科目（筆記試験）　（注１）	環境総合館1階レクチャーホール
	14：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）
2027年2月9日（火）	９：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）

（注１，２）「①一般選抜」の（注１，２）に同じ。

③社会人特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。筆記試験と口述試験は名古屋大学内の試験会場で対面式で行う。

なお，志願者は，志願分野及び指導教員を決定するにあたり，出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

日　付	試験時間	試験科目（試験方法）	試験場
2027年2月8日（月）	９：30～11：30	専門科目（筆記試験）　（注１）	環境総合館1階レクチャーホール
	14：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）
2027年2月9日（火）	９：00～	口述試験　（注２）	後日通知（注2）

（注１）地理学分野の出題範囲は以下の通りである。地理学分野の出題範囲以外の注意事項については，「①一般選抜」の（注１）に同じ。

地理学分野	人文地理学，自然地理学，地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 合計２問を出題する。

（注２）「①一般選抜」の（注２）に同じ。

④スコアシート提出方法

「4.出願手続き」と同じ方法で，封筒の表に「スコアシート在中（社会環境学専攻）」と朱書きし，2027年1月29日（金）16：00必着で本研究科に提出すること。出願時にスコアシートが準備できている場合，入試志願票などの必要書類を送る封筒に同封し，本研究科に提出してもよい。なお，提出後のスコアシートの差し替えは認めない。社会人特別選抜を受験する者，また，自己推薦入試を受験する者で英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了した者，あるいは卒業・修了予定の者は，スコアシートの提出を必要としない。

⑤試験場所

口述試験の会場は，後日，E-Mail等で通知する

7．4 採点評価・合否判定基準

専攻名	採点評価基準	合否判定基準
地球環境科学専攻	①英語 【一般選抜・社会人特別選抜】 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価する。 【留学生特別選抜】 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価するとともに，英語面接において，英語によるコミュニケーション能力を評価する。 ②口述試験 地球環境科学専攻での専門的な学習・研究に必要な総合的な能力と適性を見る。問われた事項を的確に理解し，適切に応える能力を評価する。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
都市環境学専攻 持続発展学コース	①英語 TOEFL，TOEIC またはIELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価する。 ②専門科目 大学院での学修・研究に必要とされる専門分野における基礎学力を評価する。 ③小論文 論述能力を評価する。 ④口述試験【社会人特別選抜】 大学院での専門的な学修・研究に必要な能力と適性を評価する。問われた事項を的確に理解し，適切に応える能力を評価する。 ⑤面接（配点は行わないが，合否判定の参考とする） 卒業論文などの過去の実績，入学後の研究計画の発展性などを評価する。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
社会環境学専攻	①英語【一般選抜・留学生特別選抜】 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価する。 ②専門科目（筆記試験） 大学院での学修・研究に必要とされる，各専門分野における基礎学力を評価する。 ③口述試験 【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜・社会人特別選抜】 卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。 【一般選抜（自己推薦入試）】 専門知識を問う。卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。また，英語能力も判断材料とする。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。

7．5 配点表

専攻等名	一般選抜		留学生特別選抜		社会人特別選抜	
	科目名	配点	科目名	配点	科目名	配点
地球環境科学専攻	英語	100	英語	100	英語	50
	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満点	200	満点	200	満点	150
都市環境学専攻 持続発展学コース	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目	600	専門科目	600		
	小論文	200	小論文	200		
					口述試験	800
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満点	1,000	満点	1,000	満点	1,000
社会環境学専攻 （普通入試）	英　語	100	英　語	100		
	専門科目	200	専門科目	200	専門科目	200
	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満　点	400	満　点	400	満　点	300
社会環境学専攻 （自己推薦入試）	口述試験	100				
	満　点	100				

8．合 格 発 表

2027年2月19日（金）午後1時頃〔予定〕環境学研究科ホームページにて発表する。追って郵送により判定結果を本人宛通知する。

9．入 学 手 続 き

入学手続きは，2027年3月18日（木）〔予定〕までに行う。

詳細は合格者に対し文書により別途通知する。（3月上旬に発送予定）

なお，合格者のうち，有職者については入学手続き時に所属長の承諾書，または承諾書に代わる書類の提出を求める。

10．入学料及び授業料

⑴入 学 料 282,000円〔予定〕

⑵授 業 料 前期分267,900円（年額535,800円）〔予定〕

（注1）授業料は，前期及び後期の2期に分けて，入学年度前期にあっては5月，後期にあっては11月に納入する。

なお，入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は，改定時から新たな学生納付金額が適用される。

（注2）国費外国人留学生は，入学料及び授業料の納付は不要。

（注3）長期履修学生制度について

長期履修学生制度は，職業を有している等の事情により時間的制約があり，標準修業年限での修了が困難な学生に対し，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し，学位取得することを認める制度である。経済的負担を抑えつつ，修学期間を延長できるので，仕事等との両立を図りながら修了を目指すことができる。長期履修が許可されれば，標準修業年限（博士前期課程2年，博士後期課程3年）において支払う授業料の総額を，長期履修を認められた期間（年数）で学期毎に均分して支払うことになる。

（長期履修を申請できる者）

(1) 職業を有している者

(2) 育児又は親族の介護を行う必要がある者

(3) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者

11．そ の 他

⑴ 出願資格，出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は，あらかじめ(8)に示す連絡先（大学院係）へ問い合わせること。

⑵ 外国籍であり，海外で企業等に在職のまま，本研究科に入学を希望する者は，受験資格の有無を事前に大学院係に問い合わせること。（※本研究科に在留資格「留学」で在学することなどを条件とする。）

⑶ 名古屋大学においては，構内への車両の入構規制を実施しているので，受験の際は，公共交通機関を利用すること。

⑷ 名古屋市内にレベル5特別警報，レベル4危険警報，特別警報，暴風警報又は暴風雪警報等が発表され，午

前 6 時 45 分までに解除されない場合，あるいは地震その他の災害が発生した場合もしくは発生するおそれがある場合には，試験の中止又は日程の変更を行うことがあるので，本研究科ホームページ又は大学院係で確認すること。

⑸ 出願にあたって提供された氏名，住所その他個人情報は，入学者選抜，合格発表，入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。
なお，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外に使用しない。

⑹ 入学試験成績の開示について
受験者本人からの申請に基づき，2027 年度入学試験に係る試験成績について，受験者本人に開示する。

開示内容：入学試験の合計得点ならびに募集単位別の合格者の最高点，最低点，及び平均点
※ただし，合格者の最高点，最低点及び平均点については，募集単位別の合格者が 10 人未満の場合は開示しない。
申請期間：2027 年 5 月 10 日（月）～2027 年 5 月 14 日（金）16：00（郵送のみの受付）
申請方法：本研究科所定の「開示願」により，当該試験の受験票及び返信用封筒（切手貼付）を添付して申請すること。「開示願」については，下記(8)の連絡先へ照会して入手すること。

⑺ 障がいのある者等の出願
障がい等があって試験場での特別な配慮を必要とする者にあっては，2026 年 12 月 18 日（金）までに，以下の 3 点を添えて，下記(8)の連絡先へ申し出ること。（入学後の修学に関して相談の希望がある場合も，同日までに問い合わせること。）

①受験上の配慮申請書（志望専攻等，障がいの状況，受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの，様式随意，A4 サイズ）
②障がい等の状況が記載された医師の診断書，障害者手帳等（写しでもよい）。
③障がい等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。
※適宜上記①～③以外の書類を添付しても構わない。

⑻ 連絡先

名古屋大学大学院環境学研究科大学院係
〒464－8601 名古屋市千種区不老町環境総合館 D2-1(510)
TEL 052－789－4272・4590
E-mail：env@t.mail.nagoya-u.ac.jp

※名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しております。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない（※）又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご留意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。なお、該当者には、個別に通知します。
※入学が認められない場合でも、既納の検定料は返還しません。
https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の郵送 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書（※詳細は各研究科学生募集要項参照）



STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/**



STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は **マイページ登録** から ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** を クリックしてください。



③ユーザー登録画面から **ログインページへ** を クリックしてください。



④登録したメールアドレスに 初期パスワードと 本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から 登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** を クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を 行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して **次へ** を クリックしてください。



⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** を クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報（氏名･住所等）の
入力



⑦出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

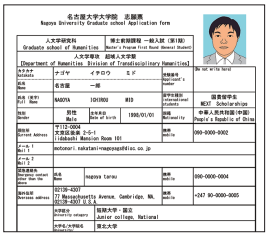


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間です。ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）										

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）											
収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1						

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料支払い後は、登録内容の修正･変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。
ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。
名古屋大学大学院博士前期課程を修了し，引き続き本研究科博士後期課程へ進学する者及び国費外国人留学生は，入学検定料の支払いは不要です。
出願内容の登録時に「検定料の免除について」をチェックしてください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
ローソン
ミニストップ
マルチコピー機
ファミリーマート

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

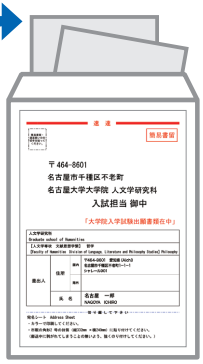
STEP 6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から**「簡易書留・速達郵便」**で郵送してください。

出願に必要な書類　⚠ 募集要項を必ず確認してください

- ●インターネット出願サイトから印刷する書類　志願票　写真票
- ●本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類　履歴書など
- ●出身大学等に発行を依頼する証明書　証明書



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。
それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。



